



## 風邪やインフルエンザにも効く 紅茶がすごい!

### ■紅茶は風邪だけでなくインフルエンザも撃退する!

紅茶には、抗菌・抗ウイルス作用が期待できる“テアフラビン”と呼ばれる成分が入っている。これは、緑茶に含まれている有名なポリフェノール的一种であるカテキンが、発酵の過程で変化して生まれたもので、紅茶の赤い色素の要因にもなっている。

近年の研究で、このテアフラビンは風邪予防はもちろん、インフルエンザウイルスの感染力を奪うこともわかってきた。

これからの季節に怖いインフルエンザを撃退してくれるとなると積極的に飲みたいが、ただし**ミルクを入れるのはNG**。ミルクがテアフラビンの働きを弱めるので、ミルクティー好きの女性は注意しよう。

### ■ショウガとハチミツを+すれば風邪予防として最強!

さらに風邪予防に効果を発揮する飲み方があそそう。それがショウガとハチミツを加えることだ。

ショウガには、ご存知の通り殺菌効果や体を温める効果がある。また、ハチミツにも医療現場で殺菌消毒に使用される“グルコン酸”が含まれており、高い殺菌効果がある。これは喉の痛みをとったり、咳を緩和させたりする作用もある。

ショウガハチミツ紅茶(1杯分)の作り方はとっても簡単。お好みの温かい紅茶に、おろしショウガ10g、ハチミツをティースプーン2~3杯を入れて混ぜ合わせるだけだ。ぜひ午後のティータイムに飲んでみよう。

また、普通に入れた紅茶を4~5倍に薄めてもテアフラビンの効果は維持できるため、紅茶が苦手な方や小さいお子さんは“紅茶うがい”でもいいそう。

出典「コーヒーよりコッチ!飲むだけで「風邪知らず」になる身近な飲み物は - Yahoo! BEAUTY」より

## 3月は決算の企業も多いですね! 訪問すればわかる「勝つ会社、潰れる会社」

藤野 英人、カリスマファンドマネージャー「投資家の作法」

投資家は画面や文書と睨み合いをして出資する、というイメージを抱く人も少なからずいる。だが足を使って情報を集めてこそ投資先の真価がわかる。筆者が明かす「プロの視点」とは?

私たちファンドマネージャーは、貸借対照表や損益計算書、アニュアルレポートといった情報だけで投資する企業を選んでいるわけではない。

企業の本社や工場などに足を運び、社長や社員への取材を繰り返し、商品やサービスを試しながら、ファンドに組み入れるべきか、慎重に絞り込んでいる。

東芝のような大企業でさえ会計上の不正を行っている以上、その数字が本物かどうかを見極めるためにも、実際に会社を訪問して“臭いを嗅ぐ”ことがますます大事になっているのだ。

こうした会社訪問で注目すべき点はいくつもある。今回はそこから導き出した「法則」をご紹介したい。

チェックは企業の**オフィスの入り口から始まる**。仮に、社員用の傘立てにビニール傘が無造作に立ててあるとしよう。梅雨の時期ならともかく、晴れているのに傘がたくさん刺さっているとしたら、この会社に投資すべきだろうか?

答えは「ノー」だ。グチャグチャの傘や折れた傘が放置されている会社は、社員の仕事に対するモチベーションが低いと考えられる。

これを「持ち主がルーズなだけ」と片付けてはいけぬ。さまざまな面で社員教育が行き届いていないと想像されるからだ。お客様の目に入るところに傘を放置しているような会社が、ミスなく経営できていると考えるほうが難しい。請求書の送り忘れや従業員の不正請求などを見逃している可能性が高い。

次に、**会議室に時計があれば、正しい時刻を示しているかを確認する**。意図的に早めている場合もあるが、5分以上のズレがある場合は要注意。社員が気づいていないか、あるいは気がついて直そうとしていないかのどちらかだから。

気づいていないというのは「時間を守っていない」「何ごとにもルーズ」という問題が潜んでいる可能性がある。気がついて直そうとしないのであれば、「自主的に動こうとしない」社員の気質の表れともいえる。カレンダーがめくられていない場合も要注意だ。

必ず見ておきたいのが、**コピー機周辺の様子**。コピー機は部屋の通路側に設置されていることが多いので、会議室に通される際にチェックできる。コピー機はたくさんの人が使う。何でも他人任せにしても平気な人ばかりの会社では、コピー用紙の包装紙や印刷ミスをした紙が積みあがっている。情報管理の観点からも、ビジネス文書が放置されたままというのは由々しき問題ではなからうか。

傘立てに時計、そしてコピー機……。これらに共通する問題は、いずれも“共有スペース”で放置されている点である。

「会社が片付いていなくても、自分には関係ない」と平気でいられるのは、会社に貢献したい意識が低いからだ。これは、社員の「当事者意識の欠如」の表れでもある。同時に、うるさい管理部長や経営者がいないことを意味する。こうした会社はコンプライアンス(法令順守)の点で大失態を演じるかもしれない。

「**神は細部に宿る**」というが、会社の本質も傘立てのような些細なところに表れる。ほかに、もすれ違う社員から挨拶がなければ会社全体に覇気がなく、過労気味なのかもと推測できるだろう。受付嬢が極端に美人である場合は女性を容姿で判断する会社なのかも……という風に、小さいと

ころこそ本質が隠れている。

もちろん、これらの「法則」は万能ではない。この世に完璧な人がいないのと同様に、これらの条件の一つも当てはまらない会社はむしろ少ない。とはいえ、気になる兆候がいくつも重なると疑わしくなってくる。

例えば、訪問先の会社で社員とすれ違ったときに挨拶をしても覇気のない返事しかもらえなかったり、挨拶をしても無視されたりすることがある。それが1人2人なら問題ない。しかし、もし会う人すべてがそのようなときは……? 会社の業績が悪いから社員に覇気がないことも考えられるが、社員に覇気がないからこそ業績が悪い可能性だってある。

投資家の力量は、目に映る小さな事柄をつなぎあわせ、想像力をたくましくして、本質を探ることに尽きる。何となく違和感を覚えたことに対して、その理由を考えるクセをつけるのが大事である。会社の本質は必ず業績に、そしていずれは株価に影響してくるものなのだ。

先日、神戸製鋼所のグループ会社が家電のパネに使う鋼線の強度試験の値を改ざんしていた事実が発覚した。いまや、東芝や三菱自動車などの大企業が不正を働く時代である。今後、コンプライアンスが厳しく問われ、不正が白日の下にさらされる流れは続くだろう。経営者は世知辛い世の中になったと嘆くのではなく、新時代に適応しなければいけない。社員も法令遵守を意識する必要がでてきた。

投資家も目に見える数字を追いかけるだけでなく、些細な事柄にも注意を払って企業の本質を探っていく必要がある。それに、こうした意識を持てば、仕入先を見極めたり、顧客の動向を見極めたりするときにも使える。必ずや、ビジネスパーソンにも役立つはずだ。「フォーブスジャパン」より

## いんでないかい本舗

### 今月のおすすめ

株式会社 おすや  
うるわシュワスパ 十勝の牛乳風呂  
(スキムミルク入り)ミルクの香り 粉末タイプ(600g)

価格 1,580円(税込)



北海道では良質で新鮮な牛乳がたくさん生産されています。そのまま飲んでもお料理で使ってもおいしい牛乳から作られたスキムミルクをお風呂に入ればお肌も気分も賢況に。

お求めは

<http://indenikai-honpo.com/shopdetail/00000000412/>